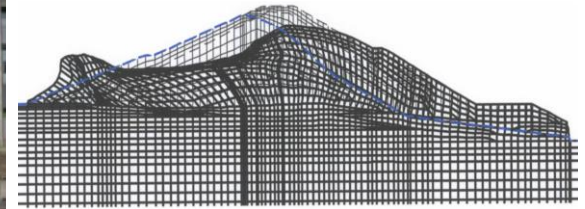
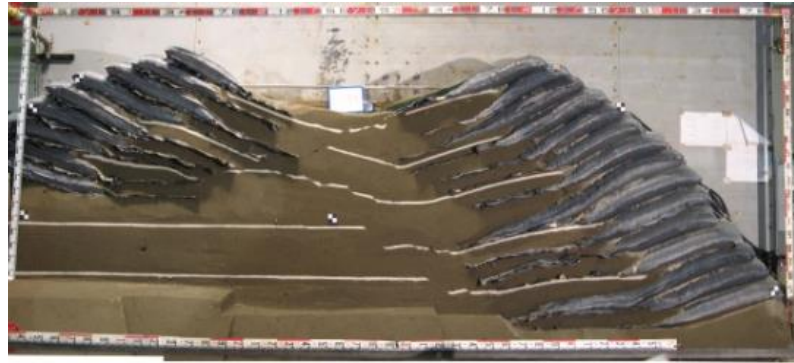


Q. どんな研究をしているの？

- A. 農業用水を蓄えるため池、ダムやそれを農地まで配るための水路、パイプラインの自然災害に対する安全性を、**現地調査、模型実験**とコンピュータを使った**数値解析**により研究しています。具体的には...



- 地震によって決壊したため池

- 200kgの大型土嚢を用いて耐震補強したため池の振動実験

- コンピュータシミュレーションによる安全性の予測

Q. 研究のキーワードは？

- A. 自然災害は地盤災害、想定外に備える、模型実験、コンピュータシミュレーション、現地調査

教員からのメッセージ： 農村地域は食糧生産の場だけでなく、環境や景観、国土保全でも大きな役割を担っています。近年、集中豪雨、洪水や大規模地震などの自然災害が頻発していますが、農村地域の**ダム、ため池を新技術でつくり、このような災害を防止することも可能です**。実際の現場の出来事をしっかりと見て、問題の本質を見抜いて真に農村地域に貢献できる「**技術を実践できるプロフェッショナル**」を育成します。